

DRYMIXOCTFUZZ オナーズマニュアル

DRYMIXOCTFUZZ をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

FUZZの前にオクターブ（アッパー）回路を設けました。
FUZZが有効の時にアッパー回路を選択できます。
最終段にてドライシグナルの追加を行います。

注意：内部電圧が安定するまで（30秒ほど）POP音や音切れをすることもあります。
故障では有りませんので、しばらく通電してください。

外部調整について

- ①Octaveは左側でドライ音100%、右側でオクターブ音100%になります。
調整具合により混合具合が変更されます。
- ②Fuzzツマミ 入力ゲインを上げるためのツマミです。
右に回せば歪も深く掛かりコンプレッション感が強くなります。
- ③Levelツマミ 出力レベルを調節するツマミです。
- ④HIGHツマミ 高音域の調整を行います。12時でフラットからプラスマイナス方向に高音域の増減が出来ます。
- ⑤LOWツマミ 低音域の調整を行います。12時でフラットからプラスマイナス方向に低音域の増減が出来ます。
- ⑥+DRYツマミ ドライシグナルを最終段で加算します。
- ⑦H.CUTツマミ +DRYの周波数域調整に使用します。ドライシグナルのトーン調整です。

付属品（内容物）

- ゴム足 x4個
- 小型ドライバー x1
- 保証書（無償保証規定）、取扱説明書（本書）、安全にお使いになるしおり

仕様

- インプット : 入力インピーダンス：約500kΩ
- アウトプット : 出力インピーダンス：約1kΩ
- 消費電流 :
- 入力電圧 : DC9v（センターマイナス）
- 本体寸法 : 125mm（幅）x100mm（奥）x52mm（高）
- 重量 : 450g
- 内部電池 : 006P

※内部電池が安定化されたパワーサプライをお使いください。ACアダプター直接接続の場合、ノイズがシグナルに乗る場合があります。
※品質向上の為、予告なく仕様を変更する場合がございます。
※手作業で塗装していますので、多少の色ムラ、埃の混入が出る場合がございます。
※塗装、梱包には十分注意を払っていますが製造過程で多少塗装に剥がれが出る場合があります。ご了承下さい。

DRYMIXOCTFUZZ 製品説明図

内部調整について

①WeveForm の調整は FUZZ ノブ 12 時方向にて
440Hz のサイン波にて 2 倍音 (880Hz) と 4 倍音 (1760Hz) と 6 倍音 (2640Hz)
の一番低い所に合わせてあります。100Hz の場合は 2 倍音 (200Hz) と 4 倍音 (400Hz) で合わせます。
入力レベルや入力周波数により多少変わりますので、再調整することも可能です。

ヒント：FUZZ ノブを良くご使用する位置で合わせたり、ハイレット位置で合わせたり、
楽器の出力に合わせて直すことも可能です。敢えて倍音感の強い所に合わせることも可能です。

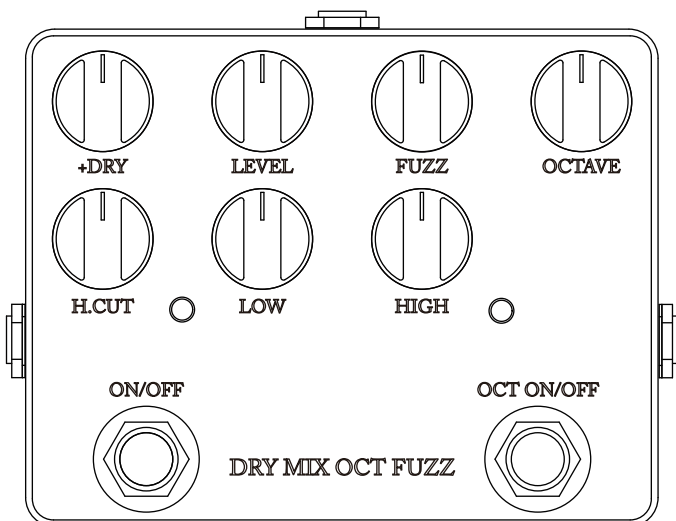
注意：調整位置よりも大幅な使用位置変更の場合は倍音感が思った感じと変わる場合があります。

②Phase の調整はファズに入る前のドライシグナルとオクターブシグナルの混ざり合う位相の調整です。
トーンの調整に感じる場合も有りますが、この調整で表の OCTAVE ノブの調整範囲も変わりますので、
OCTAVE ノブと合わせて調整することをお勧めします。
右へ回すと同時に多少レベルも変わりますので、合わせて調整をすることをお勧めします。

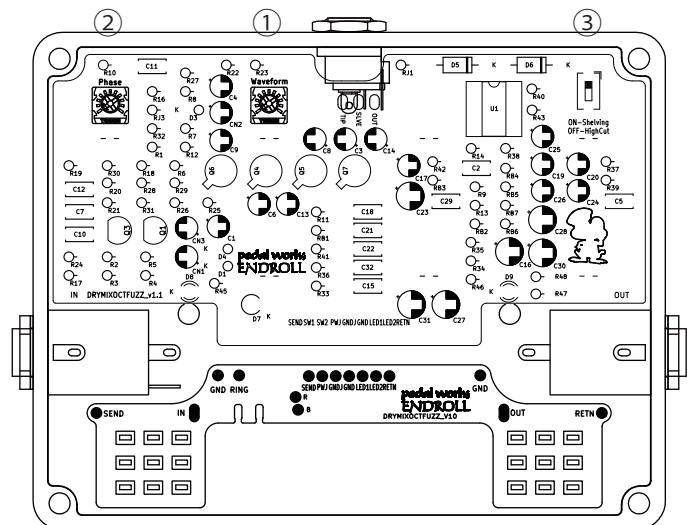
③ハイカットパターンディップスイッチ このスイッチで表の H.CUT ノブによるハイカット形状を
ハイカットタイプかシェルビングタイプかを選択できます。
シェルビングの場合はカットオフ周波数は固定です。
ハイカットタイプはカットオフ周波数可変です。

基板上の印刷方向が逆さまでした。「ON-HIGHCUT、OFF-SHELVING」が正しいです。
順次ランニングチェンジで印刷を修正予定です。

外部調整箇所



内部調整箇所



注意
内部調整を行う場合は電子部品に
触れないように十分に
気をつけて行ってください。